

# 2021年度 教員免許状更新講習募集要項



**北海道科学大学**  
**+Professional**

# 1

## 概要

教員免許更新制は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

免許状を更新するには、修了確認期限満了前の2年間に30時間以上（必修領域6時間以上、選択必修領域6時間以上、選択領域18時間以上）の講習を受講・修了することが必要となります。

# 2

## 受講対象者

- ・旧免許状所持者で2022年3月31日及び2023年3月31日に教員免許状更新講習修了確認期限を迎える現職教員等(非常勤を含む)。
- ・新免許状所持者(2009年4月以降に初めて免許状を授与された方)で有効期間の満了の日が2022年3月31日及び2023年3月31日である現職教員等(非常勤を含む)。

### 【旧免許状所持者の修了確認期限】

| 教員免許状更新講習<br>修了確認期限 | 教員免許状更新講習<br>修了確認期限 | 生年月日  |
|---------------------|---------------------|---|
| 第2グループ(2巡目)<br>※1   | 2022年3月31日          | 2012年3月31日を修了確認期限として更新手続きを行った者<br>参考) 1956年4月2日生~1957年4月1日生<br>1966年4月2日生~1967年4月1日生<br>1976年4月2日生~1977年4月1日生 |
|                     |                     | 2013年3月31日を修了確認期限として更新手続きを行った者<br>参考) 1957年4月2日生~1958年4月1日生<br>1967年4月2日生~1968年4月1日生<br>1977年4月2日生~1978年4月1日生 |

※1 1巡目に更新を行った者に限る。また、現在休眠状態の免許状を所持する者は、随時更新講習の受講が可能である。

# 3

## 講習日程

2021年8月4日(水)~8月6日(金)

# 4

## 講習時間

講習は9時30分開始、16時40分終了で次のスケジュールを基本とします。  
なお、講習によっては異なる時間設定になる場合があります。

| 9:20~9:30 オリエンテーション |                     |                      |                |                      |                       |                         |
|---------------------|---------------------|----------------------|----------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|
| 受付                  | 90分講習<br>9:30~11:00 | 90分講習<br>11:10~12:40 | 昼食             | 90分講習<br>13:30~15:00 | まとめ・試験<br>15:10~16:40 |                         |
| 9:00~9:20 受付        |                     |                      | 12:40~13:30 昼食 |                      |                       | 16:40~17:00<br>事後アンケート等 |

# 5

## 受講料

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 必修領域(1講座 6時間)   | 6,000円 |
| 選択必修領域(1講座 6時間) | 6,000円 |
| 選択領域(1講座 6時間)   | 6,000円 |

## 6

## 受講料の返還について

受講日の前日（土・日・祝日は除く）までに辞退の申し出があった場合は、受講料（振込手数料を差し引いた金額）を全額返還します。

## 7

## 講習会場

北海道科学大学（札幌市手稲区前田7条15丁目4-1）

## 8

## 開設講習概要・募集定員

## 【必修領域】

| 開設日     | 講習概要 |   |              |       |
|---------|------|---|--------------|-------|
| 8月4日（水） | 講習名称 | 教育の最新事情   | 担当講師         | 募集人員  |
|         | 概要   | 教育政策の動向や、学校の内外での連携協力の在り方などを理解し、受講者が教職についての省察を深め、現在の教職に求められる専門的な知識を学ぶとともに、今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 | 青山和弘<br>金澤昭良 | 40名   |
|         |      |   |              | 受講対象者 |
|         |      |   |              | 全教員   |
|         |      | 時間数   | 6時間          |       |

## 【選択必修領域】

| 開設日     | 講習概要 |   |              |       |
|---------|------|---|--------------|-------|
| 8月5日（木） | 講習名称 | 危機管理と組織的対応について  | 担当講師         | 募集人員  |
|         | 概要   | 学校における危機管理の取組をはじめ、登下校時における子どもの安全確保などの事例について解説を加えるとともに、学校施設の耐震化や学校等の防災体制の充実などについて考察する。さらに、教職員が組織的に取り組む方策や学校施設における事故を防止するための留意点について考える。 | 青山和弘<br>金澤昭良 | 40名   |
|         |      |   |              | 受講対象者 |
|         |      |   |              | 全教員   |
|         |      | 時間数   | 6時間          |       |

## 【選択領域】

| 開設日     | 講習概要 |   |              |                     |
|---------|------|---|--------------|---------------------|
| 8月6日（金） | 講習名称 | 機械工学教育の最新動向について   | 担当講師         | 募集人員                |
|         | 概要   | 本講習会では現在大学で実施されている機械工学教育の最新事例について紹介する。具体的には表計算ソフトや力学解析ソフトを用いた力学問題の視覚的理解及び簡単な設計問題解法を体験するとともに、次世代ものづくり・設計技術、ものづくりで必要不可欠な省エネルギー技術や環境負荷の低い自然エネルギー利用技術などを紹介する。 | 太田佳樹<br>大竹秀雄 | 10名                 |
|         |      |   |              | 受講対象者               |
|         |      |   |              | 高等学校教諭<br>(工業・主に機械) |
|         |      | 時間数   | 6時間          |                     |

【選択領域】

| 開設日         |  | 講習概要  |                                |                                    |
|-------------|--|---|--------------------------------|------------------------------------|
| 8月6日（金）     | <b>講習名称</b>  | 電気電子系実験・実習のための回路シミュレータとマイコン活用法  | <b>担当講師</b>                    | <b>募集人員</b>                        |
|             | <b>概要</b>  | <p>本講前半ではグラフィカルユーザーインターフェースを持つシミュレータを用いて、簡単な電気・電子回路シミュレーションを実践的に体験し、実際にブレッドボード上で組んだ回路との比較検討を行う。後半はScratchやmicro:bitの基礎から、センサー等と組み合わせたプログラミング教育への応用までを学ぶ。前後半を通して工業・理科・技術などの実習・実験授業の効果的実施に活用できる内容を紹介する。</p> | <p>木村尚仁<br/>一戸善弘</p>           | 15名                                |
|             |  |   |                                | <b>受講対象者</b>                       |
|             |  |   |                                | 高等学校教諭<br>(工業)<br>中学校教諭<br>(理科・技術) |
|             |  |   |                                | <b>時間数</b>                         |
|             |  |   |                                | 6時間                                |
|             | <b>講習名称</b>  | 建築計画・構造・環境学の現在について  | <b>担当講師</b>                    | <b>募集人員</b>                        |
|             | <b>概要</b>  | <p>モダン、ポストモダン、それ以降現代までに至る経緯を振り返りながら、建築計画・意匠計画の最前線の理論と様々な実践例を学ぶ。また、阪神大震災や東日本大震災の被害原因について解説し、最近行われている耐震診断、耐震補強について学ぶ。さらに、超高性能外皮技術・自然エネルギー利用技術・高効率な設備技術を融合させた建築環境学の最先端の研究について学ぶ。以上を本講習の目的とする。</p>            | <p>川人洋志<br/>魚住昌広<br/>前田憲太郎</p> | 40名                                |
|             |  |   |                                | <b>受講対象者</b>                       |
|             |  |   |                                | 高等学校教諭<br>(工業・主に建築)                |
|             |  |   |                                | <b>時間数</b>                         |
|             |  |   |                                | 6時間                                |
| <b>講習名称</b> | 都市環境科目講習   | <b>担当講師</b>   | <b>募集人員</b>                    |                                    |
| <b>概要</b>   | <p>地球環境問題の深刻化や社会経済状況の急速な変化等の問題に直面している中で、社会が必要としている土木技術や環境との調和を目指す新しい技術、及びその考え方について講義を行う。例えば、大規模地震による液状化や津波に対する防災・減災技術、急速な高齢化と人口減少が進む地域の交通を確保するために必要な交通計画の評価方法について、講義や実験を交えながら学ぶ。</p> | <p>山本泰司<br/>川端伸一郎<br/>井田直人</p>  | 40名                            |                                    |
|             |  |   | <b>受講対象者</b>                   |                                    |
|             |  |   | 高等学校教諭<br>(工業・主に土木)            |                                    |
|             |  |   | <b>時間数</b>                     |                                    |
|             |  |   | 6時間                            |                                    |

## 9

## 申込期間

2021年5月7日（金）～6月11日（金）

## 10

## 申込および受入決定の流れ

|                            | 日 程                  | 詳 細   |
|----------------------------|----------------------|---|
| 資料請求                       | 5月7日（金）<br>～6月11日（金） | <p>教員免許状更新講習資料請求フォームに必要事項を入力のうえ、フォームを送信してください。</p> <p>※『教員免許状更新講習資料請求フォーム』については、本学ホームページに掲載します。</p> <p>資料請求者に対して、次の書類を送付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受講申込書・証明者記入様式</li> <li>②事前アンケート</li> <li>③受講受入通知書（兼受講者票）</li> <li>④受講料の振込方法について</li> </ul> |
| 受講申込手続                     | 資料受理后<br>～6月11日（金）   | <p>受講申込者は、受講料振込後、次の書類に必要事項を記入して本学へ送付してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受講申込書（顔写真貼付）</li> <li>②証明者記入様式（学校長等の証明者押印）</li> <li>③更新講習修了確認証明書の写し</li> <li>④事前アンケート</li> <li>⑤受講受入通知書（兼受講者票）（顔写真貼付）</li> <li>⑥受講料振込控えのコピー</li> </ul>                      |
| 受講決定                       | 7月16日（金）             | <p>受講決定者に対して、次の書類を送付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受講案内</li> <li>②受講受入通知書（兼受講者票）</li> </ul>   |
| この段階で講習受講に関するすべての手続が完了します。 |                      |   |

## 11

## 修了認定

筆記試験によって修了認定を行い、9月27日（月）までに修了認定結果を送付します。

## 12

## 個人情報の取り扱いについて

申込書類等から取得した個人情報および認定試験の実施により取得した個人情報について、次の目的に限り利用します。

- ①講習受講および修了認定に関する業務
- ②都道府県教育委員会より、修了認定に関する照会があった場合

## 13

## 問い合わせ先

北海道科学大学 教務課

電話：（011）688-2378

メールアドレス：kyoshoku@hus.ac.jp

※お電話は、平日の8：30～16：30の時間帯にお願いいたします。